



神庭通信 2018

(かにわ つうしん)



平成30年度 校長室だより

第7号 H30. 10. 26

10月になり、秋晴れの青空が広がっています。一方、朝夕と日中の寒暖差がとても大きく、風邪をひいたり体調を崩したりすることも多くなってきました。どうぞ体調には気をつけてお過ごしください。



学校運営協議会

10月11日に第3回学校運営協議会を開催いたしました。合わせて評価部会を行い、今年度の学校評価の中間評価について協議しました。教職員が行なっているヒヤリハット報告（ヒヤリとしたりハッとしたりしたことを共有して事故防止につなげる取組み）は危険予知のトレーニングになり大切であると評価していただいたほか、年度の後半の取組みに向けた意見も活発に出されました。今年度の協議会はあと1回開催を予定しており、地域と連携を深めていく協議を継続して、子どもたちの豊かな成長を支える具体的な取組みにつなげていきたいと思っています。

避難訓練と座談会

10月15日に本校で防災訓練を行い、グラウンドへの避難、人員確認、消防署の方による消火訓練等を行いました。今回は訓練終了後に保護者の方と防災について話す機会を設けました。この夏に豪雨災害に見舞われた岡山県の倉敷まきび支援学校の様子を写真で見たほか、ご家庭での備蓄や防災対策について自由に意見交換が行われ、とても有意義な時間となりました。今後もこうした機会をいかして防災意識の向上を図り、ご家庭と学校、地域が一体となった備えをしていきたいと考えています。

まもなく秋の祭典

全校児童生徒が参加する学校行事「秋の祭典」の準備がすすめられています。日ごろの学習の成果を体育館のステージで発表したり、販売や展示などを行います。来校いただいた方々との交流を深め、学校を知っていただく機会になればと思っています。詳しくはホームページに案内を載せていますのでご覧ください。



校歌のお話（第6回）



「なかよく生きよう はたらこう」

学校の1年間は、春から始まり夏、秋、冬と季節がめぐっていきます。秋にはよく晴れた青い空のもと、グラウンドや中庭で学ぶ姿も多く見られます。校外学習や遠足、宿泊などの行事や高等部の現場実習では、事前学習・事後学習も含めてたくさんのことを勉強しています。教室や学校から外に出ることにより、校内では設定できなかった環境の中での学習が用意できます。実社会に出かけていくのですから、時には苦勞することもあります。かなり前のことですが、歩道に自転車や段ボール箱が置かれていて、電動車椅子で自走する生徒が先に進めなくて困ったこともありました。

今では「共生社会」や「生きる力」「自立と社会参加」などの言葉が当たり前のように聞かれるようになりました。校歌の「なかよく生きよう はたらこう」はこのことをわかりやすく端的に表しているように思います。身近な人との良好な関係を築き、社会性を身につけ、一緒に楽しみ、役割を果たしていく姿。そしてさらには同じ時代を生活している社会の人たちと共に生きていく姿。厚生労働省から出されている「地域共生社会」の実現に向けた取組みでは、「支え手」「受け手」という関係を超えて、人と人が世代や分野を超えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創っていく社会に向けた改革を進めていく、とあります。制度やシステムを整え、支え合いや安心感、生きがい、豊かさなどを生み出すことはもちろん重要ですが、制度とともに一人ひとりの意識や気持ちなどベースとなるところを豊かに耕す必要も感じています。

学校生活の中で友達や先生となかよくすることを通して自分のことや相手のことを知り、自分も相手もどちらも大切にすることを学び、さらに校内校外の交流や社会とのつながりを広げ深めながら地域と一体となり、社会で生きる子どもたちに成長してほしいと願っています。そしてその中で自分の役割を果たすことが、子どもたちの社会の中でのはたらきにつながるのだと思います。